



2010年4月22日

## 事故を起こさないクルマを目指し、運転支援範囲を大幅に拡大した 先進運転支援システム「新型 EyeSight (アイサイト)」を開発 ～ 「快適・信頼の走り」を実現する中核システムとしてレガシィに搭載へ～

富士重工業は、ステレオカメラを用いた先進運転支援システム「EyeSight (アイサイト)」をベースに、自動ブレーキによって車両を停止させる制御などの最新技術を加えた「新型 EyeSight (アイサイト)」を開発しました。

EyeSight は、世界で初めてステレオカメラのみで、全車速追従クルーズコントロール機能や歩行者、自転車をも対象としたプリクラッシュセーフティ機能を実現したシステムで、2008年5月の発売以来、お客様から高い評価をいただけてきました。

今回、開発した新型 EyeSight は、自動ブレーキによって車両を減速・停止させる「プリクラッシュブレーキ」で、前方衝突の回避または衝突被害の軽減を図るとともに、通常の追従走行に加えて先行車が停止した場合も、追従して停止制御する「全車速追従機能付クルーズコントロール」の追従性能を強化することによって、運転支援範囲を大幅に拡大させ、渋滞時などの運転負荷を軽減することで快適なドライブの実現に寄与するものです。

### 【具体的な新型 EyeSight の新機能※】

- ・ プリクラッシュブレーキ  
前方の先行車や障害物に衝突する危険をシステムが認識すると、車間距離警報によりドライバーに回避操作を促しますが、それでもドライバーの回避操作が無い場合、自車と対象物との速度差が約 30Km/h 以下の状況では、自動ブレーキによって衝突の回避・衝突被害の軽減を図ります。また、速度差が約 30Km/h を超える状況では、自動ブレーキによって減速することで、衝突被害の軽減を図ります。
- ・ プリクラッシュブレーキアシスト  
前方の先行車や障害物に衝突する危険をシステムが認識した状況で、ドライバーの急ブレーキ操作を検知した場合、自動的にブレーキアシスト機能を働かせることによって、衝突の回避・衝突被害の軽減を図ります。
- ・ 全車速追従機能付クルーズコントロール  
自動ブレーキの最大減速度を大幅に(従来比 1.6 倍)高めることで、都市部の自動車専用道路など、先行車の減速幅が大きい状況でも追従が可能となり、ユーザーの利便性を大幅に高めています。また、先行車が停止した場合、追従して自車を停止させた上、さらに停止状態を維持することで、渋滞時などの運転負荷を軽減することが可能です。

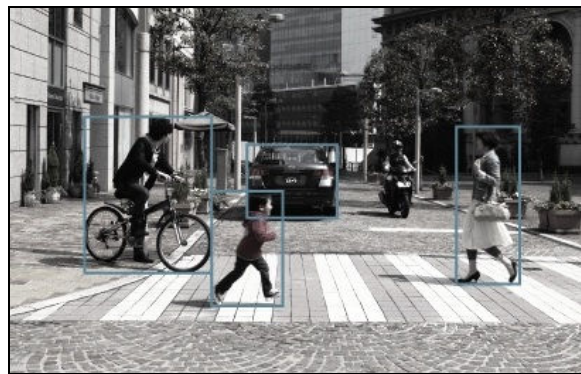
※上記機能は、道路状況および天候状態、車両状態等によって、性能が発揮できないことがあります。

【新型 EyeSight 機能一覧】

機能	制御名	制御内容
衝突回避・ 衝突被害 軽減機能	A T 誤発進抑制制御	前方に障害物を検知している状態でのペダルの踏み間違いなどによる急な前進を抑制します。
	プリクラッシュブレーキ	前述の通り。
	プリクラッシュブレーキアシスト	前述の通り。
運転負荷 軽減機能	全車速追従機能付クルーズコントロール	前述の通り。
	先行車発進のお知らせ	信号待ちなどで、前車が発進したことに気がつかず停車し続けた場合、メーター内ディスプレイ表示とアラームで発進を促します。
予防安全 機能	車間距離警報	前車に近づき過ぎたり、自車の前に急な割り込みが入ったときなど、衝突する可能性がある場合、警報音で注意を促します。
	車線逸脱警報	走行中、車両が車線から外れそうになると、メーター内ディスプレイ表示と警報音で注意を促します。
	ふらつき警報	覚醒低下などに起因する車両のふらつきを検知し、メーター内ディスプレイ表示と警報音で注意を促します。



ステレオカメラ



画像認識イメージ

富士重工業は、「快適・信頼の新しい走り」と地球環境の融合」という商品開発テーマの下、安心してスバル車に乗っていただけるように、あらゆる角度からお客様の安全性を追求しています。今回開発した新型 EyeSight は、運転者の認識・判断能力を補うために前方道路情報を車両側が認識し、能動的にさまざまな制御を行うものであり、事故を起こさない安全で快適なクルマの実現に向け、中核を担うシステムとして位置づけています。

富士重工業は、この新型 EyeSight を 5 月 19 日から横浜で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2010」で技術展示するとともに、5 月中旬に日本国内で発売するスバル レガシィ シリーズに搭載する予定です。